1995年7月21日

安田火災記念財団ニュース

編集発行：安田火災記念財団　〒160東京都新宿区西新宿1-26-1 Tel 03-3349-3550
（担当：熊野）

社　会　福　祉　事　業

社会福祉助成決定

今年度は下記①，②のように阪神大震災被災地区に重点的に助成することになったため、自動車購入資金の助成（1,000万円）のみ公募することになりました。

① 仮設共同作業所建設資金　神戸市社会福祉協議会　3,600万円

神戸市の提供した土地に民間からの援助で10カ所の仮設共同作業所が建設されましたが、そのうち精神障害者を対象とする３カ所の建築資金を助成しました。

② 『災害時における視覚障害者避難マニュアル』作成費
日本盲人福祉委員会　400万円

阪神大震災発生後、視覚障害者の避難マニュアルについての問い合わせが各地から殺到し、その必要性が認識されました。マニュアル作成に先立って、被災視覚障害者全員を対象とするアンケートが実施されます。

③ ヨーロッパ公演記録の作成費　岐阜ろう劇団「いぶき」　200万円

同劇団は岐阜県と市の支援を受けて、今夏ウィーンで開催される第12回世界ろう者会議・演劇祭典にわが国を代表して参加します。

会議会合等助成決定

今年度の会議会合等助成（非公募）は次の２件が決定しています。

① 第10回「働く仲間のうた・カレンダー」展覧会
共同作業所全国連絡会　150万円

展覧会は今年12月上旬に安田火災本社ビル１階ロビーで開催される予定です。

② カンボジアの寡婦・ストリートチルドレン・障害者の自立支援事業
日本国際ボランティアセンター100万円

同事業には昨年度も100万円を助成しています。

福　祉　諸　科　学　事　業

研究助成決定

①「精神障害者による損害に対する補填の研究－とくにカナダの現状を対象として」
帝京大学助教授　山本輝之　80万円

山本助教授は来年３月までカナダのブリティッシュ・コロンビア大学に滞在されます。渡航費用および研究費の一部を援助します。

『註釈自動車保険約款』刊行

東京大学の鴻教授（当時）を主査として当財団が昭和55年から平成元年まで開催した自動車保険約款研究会の研究成果が、『註釈自動車保険約款』（上・下巻セット価格11,000円）として有斐閣から刊行されました。

本書は学者６名と安田火災・自動車保険料率算定会の職員14名が執筆していますが、学者によるこの分野の解説書はこれまでなかったため、今後、紛争処理や裁判実務に大いに活用されるものと思われます。

財団叢書刊行

① 安田火災記念財団叢書No.45『民間公益活動の社会的役割に関する研究－福祉分野－』　財団法人 公益法人協会

本書は京都大学の西村周三教授を座長とする研究会の報告書です。同研究にはサントリー文化財団・車両競技公益資金記念財団・トヨタ財団・日本生命財団が資金を提供し、当財団も平成４年度に100万円を助成しています。

② 安田火災記念財団叢書No.46『社会福祉助成座談会－社会福祉助成に応募される方々へ－』　財団法人　安田火災記念財団

東京都社会福祉協議会事務局の小島次長を迎えて３月２日に開催した、社会福祉助成財団の実務担当者５名による座談会を収録しました。

③ 安田火災記念財団叢書No.47『社会福祉助成に関する調査報告書（３）』　財団法人　安田火災記念財団

平成４年度の助成先に対して実施したアンケートの結果をまとめました。

《その他》

・寄附行為を改正し、当財団理事の定員を「８名以下」から「９名以下」に変更しました。
・平成６年度決算理事会は５月25日に開催、原案どおり可決されました。
・参与ポスト新設

就任　田中啓二　特別参与（非常勤）

元安田火災海上保険株式会社取締役調査部長。平成３年度から４年間、当財団の福祉諸科学選考委員。筑波大学大学院・東京経済大学講師。

・事務局人事

退職　吉岡佳代子〈社会福祉助成担当〉

後任は庄司恵美〈庶務・経理兼任〉。

以　上